

教材例の例（教材例のコンセプト検討用）

- ① 0502020 身を守る（地震発生時） (p. 3～p. 8)

- ② 3102070 私的な場面で自己紹介をする (p. 9～p. 21)

- ③ 4701100 電話を掛ける (p. 22～p. 26)

※本資料は教材例のコンセプトを検討するために作成した資料であり、日本語教育小委員会で作成する教材例の様式を示すものではない。

※本資料を基に、日本語教育小委員会ワーキンググループで検討を行った結果が資料6「教材例のコンセプトについて」における「2 教材例の大枠（※新規項目）」である。

① 0502020 身を守る（地震発生時）

(p. 3～p. 8)

※教材例は4ページから6ページ。

7ページは教材例に関する補足説明。

※資料4「具体的な日本語教育プログラム例（案）」における学習者Bさん（国際結婚）を想定して作成

(タイトル)

- だれかが大きな声で何かを言っています。何が起きましたか？何と言っていますか？



- 話しましょう

- ・あなたの国は、地震がありますか？
- ・日本で地震にあったことがありますか。どんな様子でしたか。どう思いましたか。

地震だ!!!!

○ 地震がくると、どんなことが起こりますか？

イラスト

家具が倒れる

イラスト

塀が倒れる

イラスト

火事

ほかには？ まわりの人に聞いてみましょう。

[]

○ 地震のときの適切な行動に○をつけましょう。(多言語生活情報誌を見ながら/協力者と話しながらやってみる)

イラスト

すぐに外に出
える

すぐ外に出ます

[]

机の下にかくれます

[]

ガスを止めます

[]

窓を開けます

[]

[]

[]

[]

階段で逃げます エレベーターで逃げます

*ほかには？

[]

地震に備えよう

見たことがありますか？どこで見ましたか？

防災用品の写
真防災袋とその
中身の写真指定避難場所
が書かれた看
板の写真

消火器の写真

[]

[]

[]

[]

- 防災用品を見ながら、どう使うのか話しましょう。
(防災用品を持ってきて話す/防災用品売り場で話す)

あなたが使いたいと思った災用品

記入スペース

- 防災袋についてまわりの人に聞きましょう。(見せてもらいましょう)
質問1) 家に防災袋がありますか。
質問2) 中に何が入れてありますか。
質問3) _____

あなたの家の防災袋に何を入れておきますか?

記入スペース

- 「避難してください」という放送があったら (避難勧告があったら)、どこに避難しますか。

あなたの家の避難場所

記入スペース

- 消火器について調べましょう

あなたの身の回りに消火器がありますか。どこにありますか。
どこにあるかを記入するスペース

消火器の使い方を確認しましょう。(他言語生活情報なども参考に)

地震を体験しよう

避難訓練をやってみましょう (地震車体験ができるといい)

*自分の家でも家族といっしょにやってみましょう。

そのとき、声をかけあいましょう。

地震だ!	大丈夫?/大丈夫
窓を開けて!	ガスを止めて!
助けて!	
必要なことばを記入するスペース	

=====
読んでみよう 地震 避難場所 防災 消火器

<補足説明>

- ・上記の教材(ワークシート)について、指導者向けにそれぞれの活動について簡単な説明と準備物についての解説、語彙、表現、文法事項についても簡単な説明をつける。
- ・また、ほかのアイデアや発展アイデアも載せられるといい。

② 3102070 私的な場面で自己紹介をする (p. 9~p. 21)

※教材例は11ページから20ページ(20ページは18ページのタスクシートの記入例)。

10ページは教材例作成時の前提についての説明

21ページは教材例作成時に検討が必要になると思われることについての説明。

※資料4「具体的な日本語教育プログラム例(案)」における学習者Bさん(国際結婚)を想定して作成

○教材例の構成

- (1) 自己紹介場面の写真・イラスト
- (2) ことばのリスト (地名, 趣味, 仕事, 家族)
- (3) キーフレーズ
- (4) ワークシート

- ・「どうぞよろしくシート」例 (①指導者が自分のことについて記入したものの例, ②学習者の例)
- ・「どうぞよろしくシート」学習者記入用

○教室活動の展開

- ・第32回日本語教育小委員会 (10月26日)「資料4：教室活動の方法の例の具体的内容 (案)」p.7
「6.プレゼンテーション」の教室活動の展開 (自己紹介の仕方を学び, 教室で皆の前で発表する) を軸とした場合に使用する教材を想定して作成。P.10「9.フォトランゲージ」も一部組み込むことを想定。
- ・前提として学習者は, ひらがなとカタカナについては, 事前に練習帳を渡され, 練習してきている。ひらがなカタカナは完全に覚えきれてはいないが, 50音表を見ながら, 音の確認ができることを想定。

1. ウォームアップ：名札の配布, 名前の確認

- ・学習者は自分の名前の書かれた名札を指導者から受け取る (指導者は名前を確認しながら配布)
- ・指導者は自分の名札を示し, 自分の名前を言う。それに習って学習者もひとりずつ, 名前を言う。
- ・やりとりの中で, 可能な範囲で, 出身地と現在住んでいる場所 (地域の町の名前など) を言う。
(世界地図と地域の地図を囲んで。地名・単語レベルでも可)

2. 問いかけや受け答えのやりとりをしながら, ワークシートを参照したり記入し, 自己紹介の項目や内容を理解し, 自分について表現することばをみつける。

- ・配布された〔教材x〕「どうぞよろしく！シート」記入例の「【1】名前」と「【2】すんでいるところ」「【3】出身地」を参照し, 学習者自身も自分の名前, 住んでいるところ, 出身地を, 平仮名とカタカナを用いて記入する (ごく初期のクラスの場合は記入例を音読して, ひらがなの読みの練習・確認をするステップを入れてもよい)
- ・「わたしは〇〇です」「(いま) x xにすんでいます」「しゅっしんはx xです」の表現形式を使って, 指導者が自分のことを述べるモデルを開き, 同じ形を使って学習者は自分のことを述べる。
- ・写真 (指導者の家族, 趣味, 仕事場面などの写真) を見て, やり取りをする
- ・学習者は自分の趣味, 家族の人数, 仕事などについて, 述べる。
- ・ワークシートに, 趣味, 仕事, 家族の人数, ひとことメッセージを記入する。
- ・「趣味はx xです」「しごとはx xです」「家族はx xです」の形で自分のことを述べる練習をし, 必要な項目, 好きな項目を選んで自己紹介ができるようにする。

例) はじめまして。〇〇です。

出身はx xです。x xに住んでいます。趣味はx xです。

どうぞよろしくおねがいします。

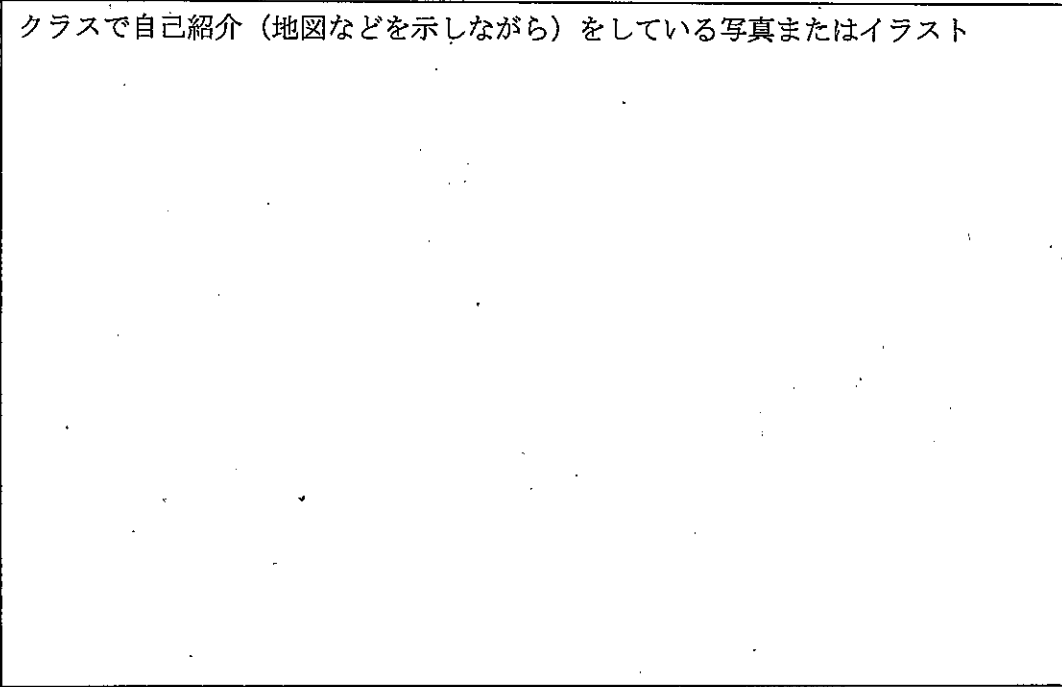
3. 協力者との交流活動 (次回, 学習者に写真を持って来てもらって)

- ・写真を用いながらの初対面会話を学習者と協力者 (1対1) で実施する。

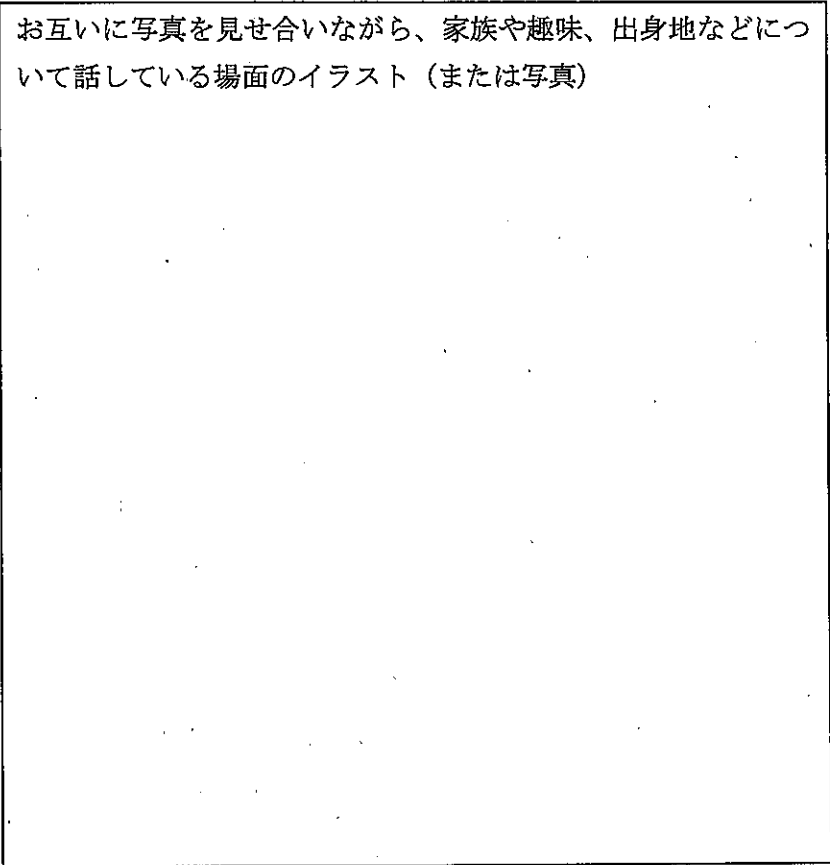
4. 記入した「どうぞよろしく！」シートは回収し, グループで冊子を作る。

■■場面のイメージ■■

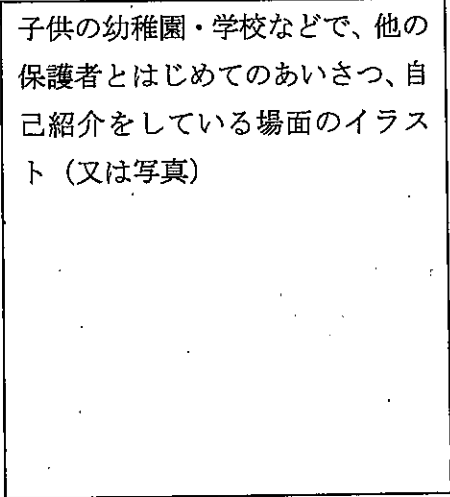
クラスで自己紹介（地図などを示しながら）をしている写真またはイラスト



お互いに写真を見せ合いながら、家族や趣味、出身地などについて話している場面のイラスト（または写真）

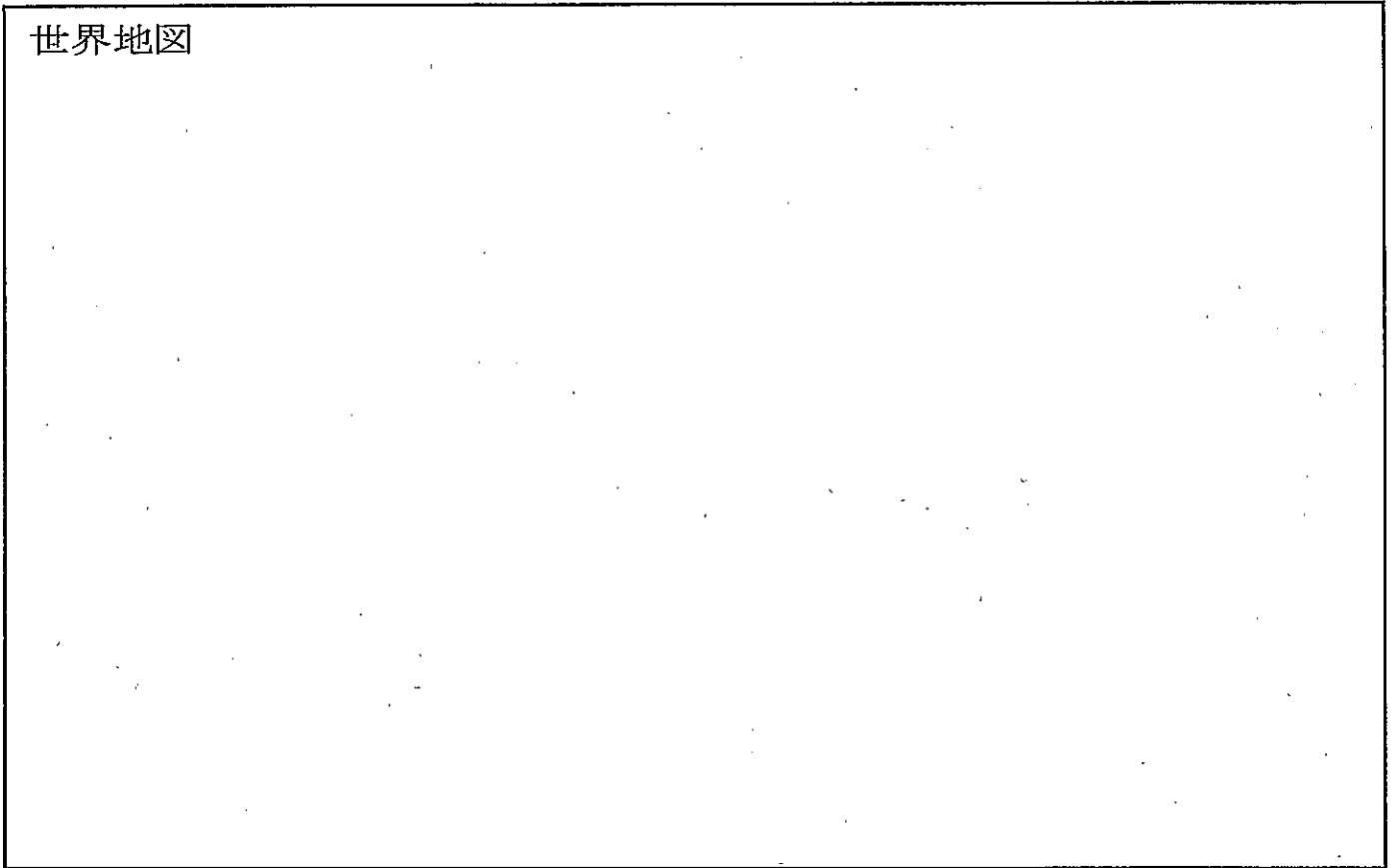


子供の幼稚園・学校などで、他の保護者とはじめてのあいさつ、自己紹介をしている場面のイラスト（又は写真）



■■ことばのリスト■■

地名



* どの国名を選んでリストに載せるかは要検討

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| ① _____ | ② _____ | ③ _____ | ④ _____ |
| ⑤ _____ | ⑥ _____ | ⑦ _____ | ⑧ _____ |
| ⑨ _____ | ⑩ _____ | ⑪ _____ | ⑫ _____ |
| ⑬ _____ | ⑭ _____ | ⑮ _____ | ⑯ _____ |
| ⑰ _____ | ⑱ _____ | ⑲ _____ | ⑳ _____ |

日本地図（都道府県名、主要都市名）

- * 文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』p.169の地図に
主要都市の場所と名所・名物のイラストをつけたイメージ

趣味

イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト
イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト
イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト

えいが
りょうり
かいもの
ゲーム
サッカー
ジョギング

おんがく
しゅげい
えんげい
テニス
やきゅう
ハイキング

りょこう
どくしょ
インターネット
スキー
すいえい
つり

職業

イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト
イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト
イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト
イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト	イラスト

かいしゃいん

てんいん

つうやく／ほんやくか

せんせい (きょうし)

いしゃ

やくざいし

デザイナー

スポーツ選手

こうむいん

ちょうりし／コック

べんごし

ほいくし

かngoし

エンジニア

がが

しゅふ

ぎんこういん

りょうし／びょうし

じえいぎょう

けんきゅうしゃ

かいごし／ヘルパー

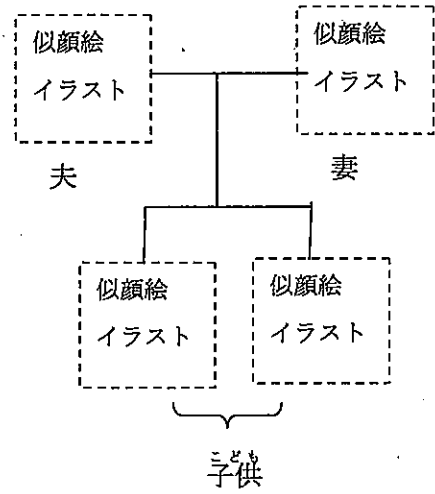
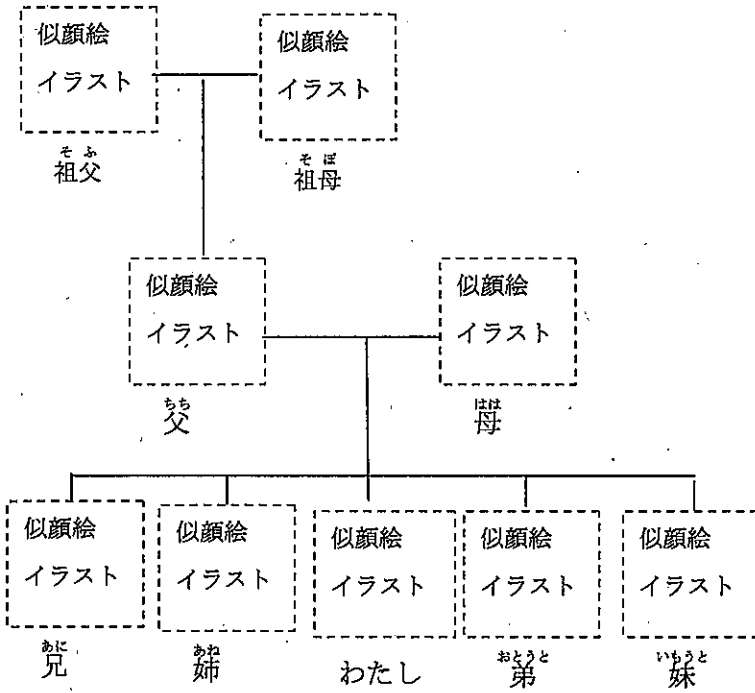
ジャーナリスト

かしゅ

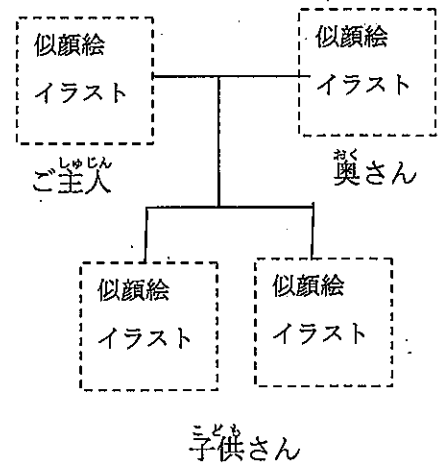
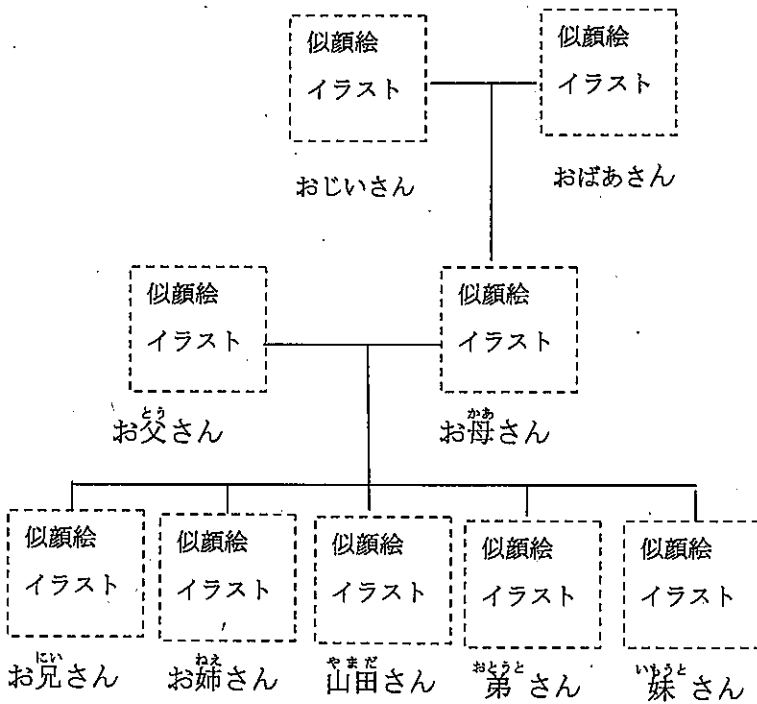
がくせい

家族

[わたしの家族]



[山田さんのご家族]



■キーフレーズ■

<キーフレーズ>

はじめまして。x xです。

x xに住んでいます。

出身はx xです。

どうぞよろしくおねがいします。

<やりとりの例>

A : x xさん、しゅみは？

B : しゅみはx x x x xです。 / x x x xが好きです。

A : おしごとは？

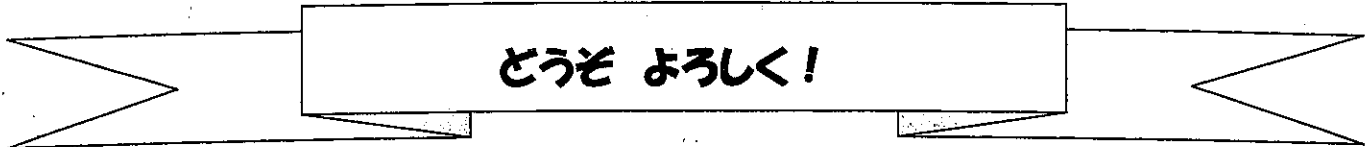
B : しゅふです。 / 中国で 会社員でした。

A : ご家族は？

B : 家族は4人です。夫と子どもが2人います。

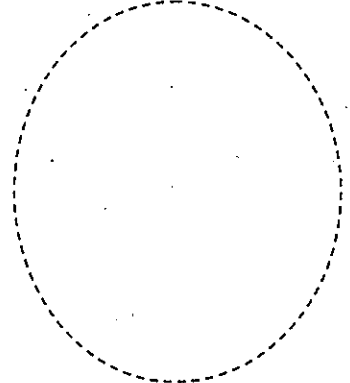
A : お子さんは何歳ですか。

B : 7歳と5歳です。



【1】名前 (なまえ) :

Name/姓名/이름 :



【2】すんでいるところ :

Place of residence/居住地/거주지:

_____ し _____ く, まち
市 (区 / 町)

【3】出身 (しゅっしん) :

Home country/town / 出身地/ 출신지 :

【4】趣味 (しゅみ) :

Hobbies/ 爱好 / 취미 :

【5】しごと(仕事) :

Occupation / 工作/ 직업 :

【6】かぞく (家族) :

Family/ 家族/ 가족 :

ひとり ふたり にん
1人, 2人, _____ 人

★ひとこと message ★

Large empty rectangular box for writing a message.

【1】 わたし は ヤン です
 Watashi wa Yan desu

わたしの なまえ は ヤン です。
 Watashi no namae wa Yan desu

【2】 (わたし は) よこはま に すんでいます
 (Watashi wa) Yokohama ni sunde imasu

【3】 しゅっしんは ちゅうごく です。
 Shusshin wa chuugoku desu

(わたし は) ちゅうごく から きました
 (Watashi wa) chuugoku kara kimashita

【4】 (わたしの) しゅみ は おんがく です
 (Watashi no) shumi wa ongaku desu

(わたし は) おんがく が すきです
 (Watashi wa) ongaku ga suki desu

【5】 (わたし は) てんいん です
 (Watashi wa) tenin desu

(わたしの) しごとは てんいん です
 (Watashi no) shigoto wa tennin desu

【6】 (わたしの) かぞく は 5 にん です。
 (watashi no) kazoku wa go nin desu

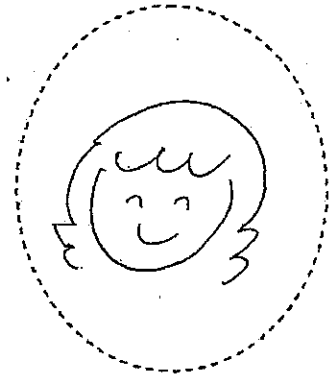
どうぞよろしく!

【1】名前 (なまえ):

Name/姓名/이름:

かわもと

川本 ほのみ



【2】すんでいるところ:

Place of residence/居住地/거주지:

よこはま

横浜

市

なか

中

くまち
(区/町)

【3】出身 (しゅっしん):

Home country/town / 出身地/ 출신지:

にほん
日本

とうきょう みやがし
東京 (三鷹市)

【4】趣味 (しゅみ):

Hobbies/ 爱好 / 취미:

りょこう
旅行

ハイキング

すいえい
水泳

【5】しごと(仕事):

Occupation / 工作/ 직업:

にほんご せうし
日本語教師

日本語教師

【6】かぞく (家族):

Family/ 家族/ 가족:

ひとり
1人,

ふたり
2人,

さん
3
にん
人

★ひとこと message ★

「ほのみさん」とよんでください。

どうぞよろしくおねがいします。

○教材例作成における要検討事項（教材例を作成しながら気になったこと）

- ① <ことばのリスト>は、学習者が自分のことを表現するのに必要になりそうなことばを、テーマ/トピックベースでなるべく数多くイラストと共にとりあげて、ピクチャーディクショナリーのかわりになるようなものを作るとよいと思う。現場の状況にあわせて、必要なものを加えるのはもちろんであるが、その場合、イラスト素材等取り入れて入手するのが難しい場合があるので、数多くを載せて「不必要なものは削除して使える」という形にしたほうが有用性が高まるのではないか。
- ② 職業名など、ことばの配列の順序に迷った。職種のカテゴリー別にすべきか、職名の50音順にすべきか。
- ③ ゼロ初級者への対応はどのように考えるか。ゼロ初級者対応のプログラム案も考える必要があるのではないか。「生活上の行為」にひきつけながらも、構造的なことを認知的に習得しやすい配列、内容の工夫が必要ではないか。



③ 4701100 電話を掛ける

(p. 22～p. 26)

※資料4「具体的な日本語教育プログラム例(案)」における学習者Aさん(日系人就労者)
を想定して作成

でんわ
電話(しょくばに でんわをかける)

I. きょう しごとを ^{やす}休みたいです。しょくばに ^{でんわ}電話をしてください。

わたし：もしもし……。

しょくばのひと：はい、*****です。 (*****：会社名)

①わたし： _____

しょくばのひと：はい、わかりました。じゃ、おだいじに。

②わたし： _____

II. ^{でんしゃ}電車が おくれています。しょくばに ^{でんわ}電話をしてください。

わたし：もしもし……。

しょくばのひと：はい、*****です。 (*****：会社名)

①わたし： _____

しょくばのひと：はい、わかりました。じゃ きをつけて。

②わたし： _____

I. 休みたいとき

①じぶんのなまえ・・・・・・・・○○○です。

あいさつ・・・・・・・・おはようございます。

りゆう・・・・・・・・ ex. (じつは) けさから あたまが いたいです。

おわび & おねがい・・・・・・・・すみませんが やすんでもいいですか。

②おれい・・・・・・・・ありがとうございます。

電話のおわりのことば・・・・・・・・じゃ、しつれいします。

II. ちこくするとき

①じぶんのなまえ・・・・・・・・○○○○です。

あいさつ・・・・・・・・おはようございます。

りゆう・・・・・・・・ ex. ^{でんしゃ}電車が とちゅうで とまりました。

おわび & いいたいこと・・・・・・・・すみませんが、15ふんほど おくれます。

②おわび & あいさつ・・・・・・・・すみません。よろしくおねがいします。

電話のおわりのことば・・・・・・・・しつれいします

1. いろいろなときについて、電話^{でんわ}で はなすれんしゅうを してみましょう。

- ① おなかが いたいです。 ② こどもが びょうきです。
- ③ にゆうかんに いきます。 ④ びょういんに いきます。
- ⑤ ねぼうしました。 ⑥ 電車^{でんしゃ}を のりこしました。
- ⑦ 電車^{でんしゃ}が おくれています。 ⑧ さいふを おとしました。

2. あなたのばあいを かんがえて、かいてみましょう。

〇〇〇です。おはようございます。

じつは _____

〇〇〇です。おはようございます。

3. はじめのシートを^{つか}使って、スムーズにいえるまで、れんしゅうしましょう。